

6.アンケート地区別分析項目

6-1.相模原 地区親の会

①アンケート回収状況(アンケート属性、件数データ集計結果)

1)回収率

| | |
|------|--------|
| 回答件数 | 39 件 |
| 総発行数 | 83 件 |
| 回収率 | 47.0 % |

年齢構成

| 年齢 | 人数 | 男 | 女 |
|----|----|----|---|
| 4 | 1 | 1 | |
| 8 | 2 | 2 | |
| 10 | 2 | 1 | 1 |
| 11 | 1 | | 1 |
| 12 | 3 | 3 | |
| 13 | 1 | 1 | |
| 14 | 5 | 4 | 1 |
| 15 | 1 | 1 | |
| 16 | 1 | 1 | |
| 17 | 3 | 3 | |
| 18 | 1 | | 1 |
| 19 | 2 | 1 | 1 |
| 20 | 1 | 1 | |
| 21 | 0 | | |
| 22 | 1 | | 1 |
| 23 | 1 | | 1 |
| 24 | 1 | 1 | |
| 27 | 1 | 1 | |
| 33 | 1 | 1 | |
| 35 | 4 | 4 | |
| 36 | 3 | 3 | |
| 37 | 1 | 1 | |
| 38 | 1 | 1 | |
| 49 | 1 | 1 | |
| 合計 | 39 | 32 | 7 |

2) 日中活動の場

| | |
|--------------|------|
| 12 幼稚園 | 1 名 |
| 21 通常級 | 4 名 |
| 22 小中特別支援学級 | 5 名 |
| 23 特別支援/養護学校 | 5 名 |
| 35 特別支援/養護学校 | 5 名 |
| 51 通所福祉施設 | 12 名 |
| 52 入所福祉施設 | 1 名 |
| 61 普通企業 | 3 名 |
| 62 特例子会社 | 1 名 |
| 70 在宅 | 1 名 |
| 71 病院 | 1 名 |
| 合計 | 39 名 |

3) 障害者手帳の状況

| | |
|---------|--------------|
| 療育手帳 A1 | 9 名 |
| A2 | 14 名 |
| B1 | 3 名 |
| B2 | 8 名 |
| B3 | 2 (神奈川県判定B2) |
| 精神 2級 | 1 名 |
| 精神 3級 | 1 名 |
| 無し | 1 名 |
| 合計 | 39 名 |

4) 記入者

| | |
|------|------|
| 1 本人 | 0 名 |
| 2 家族 | 39 名 |
| 合計 | 39 名 |

5) 住んでいる所

| | |
|------|------|
| 1 自宅 | 35 名 |
| 3 GH | 4 名 |
| 4 入所 | 0 名 |
| 合計 | 39 名 |

2 総回答件数状況

1)

| NO 質問項目 | ○良かった事 | ●困った事 | 20 望む事 | 30:合理的配慮 | 合計件数 | % |
|--------------------|--------|-------|--------|----------|------|------|
| NO1 療育・教育 | 23 | 42 | 13 | 6 | 84 | 22.0 |
| NO2 障害児支援 | 16 | 17 | 10 | 6 | 49 | 12.9 |
| NO3-1 働く(一般就労) | 4 | 9 | 2 | 1 | 16 | 4.2 |
| NO3-2 働く(福祉就労) | 8 | 5 | 4 | 1 | 18 | 4.7 |
| NO4 医療 | 22 | 30 | 7 | 4 | 63 | 16.5 |
| NO50 警察や交番・司法 | 6 | 7 | 4 | 2 | 19 | 5.0 |
| NO6-1 生活支援(店舗等) | 19 | 17 | 5 | 3 | 44 | 11.5 |
| NO6-2 生活支援(公共交通機関) | 7 | 6 | 3 | 2 | 18 | 4.7 |
| NO6-3 生活支援(消費生活等) | 1 | 9 | 3 | 1 | 14 | 3.7 |
| NO7 生活(住まい) | 5 | 10 | 3 | 2 | 20 | 5.2 |
| NO8 救急・消防・災害 | 2 | 3 | 3 | 1 | 9 | 2.4 |
| NO9 政治参加 | 2 | 2 | 2 | 1 | 7 | 1.8 |
| NO10 社会参加 | 11 | 5 | 2 | 2 | 20 | 5.2 |
| 合計 | 126 | 162 | 61 | 32 | 381 | 100 |

2) 自由記入

| NO 質問項目 | 件数 |
|-----------------|----|
| 10 困った事 | 8 |
| 20 助かった事、親切だった事 | 2 |
| 30 アンケートへの感想、意見 | 0 |
| 40 会への要望、意見 | 0 |
| 50 その他 | 4 |
| 合計 | 14 |

②生活シーンNO項目別回答コメントの分析概要報告(相模原)

NO1 療育・教育

- ・乳幼児健診で「要注意」となったが、何をどのように注意するのか、どんな病院に行けばよいのか全く教えてもらえなかった。
- ・教師に自閉症に関する理解、専門性が乏しく、配慮の必要性を伝えても理解してもらえなかった。また、教師によって対応が異なり子どもが混乱した。
- ・就学時に、養護学校の定員に余裕が無く「できるだけ地域の支援級へ行って欲しい」と要望された。その支援級では軽度発達障害児が多く、重度の児童に対する対応が難しくなり、つらかった。
- (望む事として) ・就学前→小学校→中学校→高校→社会人と一貫した指導計画の引き継ぎが行なわれるシステムが欲しい。
- ・療育の受け入れ先が少なく、また早く入らないとなかなか入るのが難しい。
- また、手続きの簡素化も必要である。
- (合理的配慮) ・教師が親の話を良く聴いてくれないので、専門機関のDr等との第三者面談をしてほしい。
- ・相模原市の支援級担当は心身、体調に問題のある先生の溜まり場になっているように感じられる。教育委員会はこの点を配慮して欲しい。

NO2 障害児支援

- ・診断後に「もう、こちらで出来ることはありません」と放り出された。親の会の紹介もなかった。
- ・発達障害をきちんと診断できる専門家がいないと診断を受けても抜け落ちてしまう。
- ・緊急時に一時的に預かってくれる場所が少ない。
- (望む事として) ・本人だけでなく、兄弟への支援(放課後の預かり支援等)、親への継続的なアドバイスができる機関が欲しい。
- ・学校への送迎時にガイヘルが使えるようにしてほしい。
- (合理的配慮) ・市へ提出する申請も1年毎ではなく療育手帳と同じ年数にするような工夫がほしい。

NO3-1 働く(会社などの一般就労)

- ・高等部卒業後の選択肢が少ない。
- ・職場での障害に関する理解度が低い。また、職場内での交流が少ない。
- ・職業適性検査の場で、どの様な作業がなされたかの説明がなかった。
- (合理的配慮) ・対人関係が原因で職場に行けなくなった。対人面でサポートしてくれる専門家をつけてほしい。

NO3-2 働く(福祉的就労・施設・作業所など)

- ・就労先の訓練で、上司が大きな声で同じことを繰り返して言うので、反抗的になってしまった。子どもの特性を理解して指導して欲しい。
- ・施設での利用者同士の相性を十分に把握しておらず、結果としてストレスが溜まった。
- ・職員がきちんと記録をつけているので、本人の得意、不得意が判り、やる気を起こさせることがうまくいっている。
- (望む事として) ・職員の自閉症についての研修をより多く重ねてほしい。
- ・少しらしいの失敗は次へのステップ。もう少し長期的に目標を持って地道に取り組んでほしい。
- (合理的配) ・自閉症の方々に合った空間の確保を国レベルで実施してほしい。

NO4 医療

- ・長く通院している医院では、順番や薬に配慮してくれる所もある。
- ・本人からの訴えが伝わらず誤診され、危うく死にそうになった。
- ・検査の時は毎回数人で押さえつけたり、タオルでくるみこまないと検査ができない。
- ・歯科医院で、じつとできないと診察できないと言われ、断られた。
- (望む事として) ・本人からの訴えを聞き出す手段を学んでほしい。
- (合理的配慮) ・自閉症児者の受診時マニュアルを作り、徹底してほしい。また、自閉症理解を医師の国家資格の内容に入れて欲しい。

NO5 警察や交番・司法

- ・ホームセンターで迷子になり、警察を呼ばれた。本人が名前を言っても聞き入れず、シャツや靴に名前を入れていたが気付いて貰えなかった。
- ・コンビニでトラブルになった時にやさしく対応してくれた。
- (望む事として) ・警察や交番の方に自閉症についてもっと勉強してほしい。
- (合理的配慮) ・自閉症の特性が判らなければ、自閉症の専門機関と連携してほしい。

NO6-1 生活支援(店舗・レジャー施設・余暇の場)

- ・スーパー、コンビニなどは、何度か通うと店員も理解して対応してくれる。
- ・大きな声を出すを事前に伝えたら、絵画教室への入会を断られた。
- ・ディズニーリゾートの対応が良かった。
- ・コンビニのキャッシュコーナーで後ろから覗き込んでトラブルを起こした。(不審者と勘違いされつかまれ、蹴られた)
- (望む事として) ・障害の特性を理解して、少し力を貸して欲しい。
- ・列に並ぶのが苦手な人への配慮は是非望みたい。
- (合理的配慮) ・メニューを写真付きにしてくれると判り易い。

NO6-2 生活支援(公共交通機関)

- ・電車、バスで無賃乗車をしてしまう。改札口で阻止してほしい。
- ・「Suica」が使えるようになって切符を買う時のもたつきがなくなって、本人も家族もストレスが減った。
- (望む事として) ・障害者(妊婦、老人等を含む)専用車両があればよい。
- (合理的配慮) ・従業員への障害者理解の社内教育を実施してほしい。

NO6-3 生活支援(消費生活・情報アクセス・コミュニケーション保障)

- ・ケーブルテレビで資料や映画ビデオを購入しかなり高額な請求が来た。
- ・宗教の勧誘が来て困る。また社会人になると種々なトラブルに巻き込まれることが心配。
- (望む事として) ・パソコン、携帯電話のセキュリティーを更に強化してほしい。

NO7 生活(住まい)

- ・家族や近隣者の理解が得にくい。
- ・将来一人で暮らすためにグループホームの存在は有難いが、本人に合った場所があるか心配。
- (望む事として) ・大きな声、しつこい話で近隣とトラブルを起こし易い。そのような事を回避できる設計・仕様の住まいを望む。
- ・パニックになった時、家族だけの対応には限度がある。場所を変えたり、他人と関わることで落ち着くこともあるので、短期入所施設等が利用できれば良い。

NO8 救急・消防・災害

- ・大震災の時、電車が止まり帰宅できなかったが、こちらから迎えに行くまで職員が対応してくれた。
- ・他人が大勢いる場所には行けないので、配給物資が貰えるか心配です。
- ・本人が自分のことを伝えられない。体調不良になった場合が心配。
- (望む事として) ・停電等普通と違う状況では騒ぐかもしれないが、許して欲しい。
- ・障害者、高齢者等がいる家庭は把握しておいてほしい。

NO9 政治参加

- ・投票所で子どもから目が離せない旨伝えても理解してもらえなかった。
- (望む事として) ・候補者のことを良く確認できずに投票していると思うが、本人の社会参加のという意味で理解してほしい。
- (合理的配慮) ・投票する際、その人の個性があるので明らかな不正でなければ有効票として扱ってほしい。

NO10 社会参加(地域、自治会、民生委員など)

- ・自治会役員の役割分担が回って来た時、子どもから目が離せないため先延ばしをお願いしたが聞き入れてもらえなかった。
- ・地域の行事(夏祭り、もちつき等)に参加し、障害理解となっている。
- ・近隣に本人の障害の事を知らせてあるので、問題は無い。
- (望む事として) ・地域の人達が一日、本人と過ごして障害を理解してほしい。
- ・地域での生活を考えると、まず、民生委員、自治会役員に障害を理解してほしい。

全体としてのコメント

- ・アンケート回答は、「療育・教育」、「障害児支援」、「医療」、「生活支援・店舗、レジャー」等生活に密着しており、重要な場面に関するものに集中している。
- ・内容としては、それぞれの場面での自閉症や発達障害に関して周囲の理解不足、不適切な対応に起因するトラブルが多く述べられている。
- ・自閉症、発達障害に関する、一般社会への啓発活動が重要と思われる。
- ・また、自閉症児者への支援は、幼少期、就学期、成人期と一生涯続けられることが望ましいが、それぞれの場面で十分な支援が得られていない。また、支援(個別指導計画等)が各段階の間でうまく繋がらなく、寸断されている。これらの支援が生涯に亘りスムーズに繋がっていくシステムが必要であると思う。
- ・また、支援を提供する施設、制度、手続きが不十分、煩雑であり使えない、使いにくいこともあるが、工夫(合理的配慮の提供)次第で使い勝手も向上すると思われる点もある。
- ・各場面で良かった事の内容は、障害に関する理解、適切な対応・支援が実施された場面である。

以上